

令和7年度 自己評価書

学校名	和歌山市立加太中学校
校長氏名	鳥居純子
作成日	令和 8年 2月 18日

1 教育目標

『高い知性 豊かな情操 強い意志』のある生徒の育成

2 本年度の取組についての評価

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
指標	①全国学力学習状況調査で各教科の正答率(県平均以上) ②「先生はわかりやすく教えてくれる」と答える生徒の割合(80%)	①「学校が楽しい」と答える生徒の割合(90%) ②「自分の良さを認め、周りの人にも優しくできている」と答える生徒の割合(70%) ③いじめ解消率100%	①睡眠・食習慣が良好な生徒の割合(90%) ②保健体育の評価の主体的に学習に取り組む態度の観点A評価(50%) ③避難訓練等の実施(年2回)	①「学校の様子がよく伝わった」と思う保護者の割合(90%) ②地域学習に関する取組を行う(年10項目以上)
重点目標【P】	○「主体的・対話的で深い学び」を目指した授業改善 ○ICT活用と個別最適な学びによる理解度の向上 ○家庭学習の習慣化と基礎基本の定着	○生徒一人ひとりの良さを見つけ、認め合う場を創出する教育活動 ○互いの個性を尊重し支え合う集団づくり ○いじめを許さない組織的対応と未然防止	○生涯にわたり運動に親しむ資質と能力の育成 ○規則正しい生活習慣の確立 ○自他を守る安全意識の向上と危機管理の徹底	○多様な媒体を活用した迅速かつ丁寧な情報発信 ○地域資源を活用した地域学習の充実と推進 ○学校・家庭・地域の連携による教育力の向上
取組の状況【D】	○授業改善に向けた校内研修の充実と実践 ○ICT活用による指導の充実と学習意欲の向上 ○図書室の常時開放と読書時間の確保	○定期的な教育相談等による早期発見と支援の徹底 ○計画的な人権学習を通じた自他を尊重する心の育成 ○あいさつ運動の活性化による明るい人間関係の構築	○保健室だよりの発行による健康意識の啓発 ○全員給食を柱とした食育の推進と指導の充実 ○実践的な防災・減災教育による危機管理能力育成	○地域の教育財産や外部人材の積極的な活用による地域学習 ○学校ホームページの充実及び、ICTツールを用いた家庭との緊密な情報共有
取組の成果と課題(評価結果)【C】	【成果】 指標① 達成している 指標② 目標 80% 結果 100% (とてもそう思う78% そう思う23%) ○読書タイムの実施困難により、指導が不十分となった。	【成果】 指標① 目標 90% 結果 95% 指標② 目標 70% 結果 95% 指標③ 達成できている	【成果】 指標① 目標 90% 結果 82% 指標② ほぼ達成している 指標③ 年2回、避難訓練を施行、外部人材による減災学習を行った。	【成果】 指標① 目標 90% 結果 100% 指標② 達成している 令和7年度から地域教育の年間計画を策定・施行
改善方法【A】 次年度に向けて	○相互参観や校内研修による教員の授業力の組織的向上 ○ICT活用による学びの定着状況の可視化・強化 ○家庭学習の習慣化を図る指導と家庭との連携の具体化 ○図書室の活用頻度の向上及び読書機会の柔軟な設定	○人権研修の充実と実践的な指導への還元 ○地域と連携した体験活動による奉仕心の育成 ○ICT環境に対応した情報モラル指導の強化	○多様な運動機会を提供し運動習慣の定着を図る ○家庭と連携した「早寝・早起き・朝ごはん」運動の継続 ○場面を想定した実践的な安全指導・防災減災教育の継続実施	○ITCツールを活用し、家庭と学校間の連絡をより円滑にする工夫する。 ○恵まれた地域環境を活かせるような教育活動の立案・実践を行う。

3 その他の課題

(幼小中一貫教育) 本年度は一貫教育の基盤を築き、方向性を確立しました。今後は活動内容の精査など抽出された課題の解決に向けて、各校の専門性を尊重した連携を継続して行います。
(地域学習) 計画通り活動を実施しましたが、生徒の主体性に課題が残りました。次年度は事前学習を充実させ、生徒自らが課題を見つけ探究する学びの質の向上を図ります。